

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

**変更** 連結小口カバー・着脱レバーを変更しました。

- お願い**
- 商品を手正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。
  - シーラーなどの水密部品は説明書に従って組立ててください。サッシからの漏水は家屋を傷め、施工主から賠償を求められることがあります。
  - 組立は、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。締め付け不良は漏水や事故の原因になります。
  - 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれの無いことを確認してください。取付開口部の精度が悪いと、商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因になります。
  - 商品周辺の防水処理と商品本体のシーリングは説明書に従って必ず行ってください。漏水は、家屋や家財を傷める原因になります。
  - 施工完了後、説明書の調整方法通り調整が行われていることを確認してください。調整不良は操作不良や異常音の原因になります。

**注意**

組立時、電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。  
 障子：2.0~2.5N・m(20~25kgf・cm)程度  
 枠：2.0~2.5N・m(20~25kgf・cm)程度

**注意**

「電動ドライバー使用禁止マーク」で表示している箇所のねじ止めは必ず手締めで行ってください。電動ドライバーを使用すると、部品を变形させたり、ねじ頭をつぶすおそれがあります。

本製品は切詰対応用ではありませんので、全て部材は加工済みです。

**チェックシート**

組立・取付時、本文中に表示している「チェックマーク」の確認をしてください。

項目	チェック欄
① 組立時、トルク調整をしましたか？	
② シーラーの位置ずれ・折れ曲がりはありませんか？	
③ 枠のハラミ・つづみ・対角ずれ・ねじれの無いことを確認しましたか？	
④ 枠の本固定にシーリングを併用しましたか？	
⑤ 枠まわりのシーリングをしましたか？	
⑥ 上下の戸車を正しくセットしましたか？	
⑦ 障子吊込み後、開閉操作の確認を行いましたか？	
⑧ 調整後、ねじをしっかりと締めましたか？	

**同梱一覧**

■枠用部材				■枠組立用部材		■障子組立用部材											
部材名	上枠	下枠	左たて枠	右たて枠	品名	なべタッピンねじ2種(φ4×35)	品名	ガラリツマミ	プッシュリベット	中棧連結ブロック	中棧連結ブロック	ツマミ	ツマミ	上戸車	上戸車	下戸車	下戸車
品番	K-51850-1	K-51851-1	K-51852-1	K-51852-2	品番	K-6613	品番	K-38299	K-38040	K-38296	K-38297	K-37878	K-37879	K-38282	K-38283	2K-37227	2K-37226
個数	1	1	1	1	個数	8	個数	2	4	2	2	1	1	1	1	1	1
備考					備考		備考			右用	左用	浴室側	脱衣室側	右用	左用	吊元側	摺動側
部材名	左たて枠	右たて枠	左たて中棧	右たて中棧	品名	上ラッチ	下ラッチガイド	下ラッチ	連結小口カバー	錠	ガラリブロック	ガラリブロック	着脱レバー	中トラスタッピンねじ(φ4×10)	中トラスタッピンねじ(φ4×10)		
品番	K-51801-1	K-51801-2	K-51816-1	K-51816-2	品番	K-38286	K-39926	K-39927	2K-37932	K-38291	K-38294	K-38295	2K-35821	EM-4010D8	AM-4010D8		
個数	1	1	1	1	個数	1	1	1	2	1	2	2	2	2	1	1	
備考					備考						右用	左用		上ラッチ・下ラッチガイド併用	下ラッチ取付用		
部材名	中棧引手	中棧	ガラリ	下枠	品名	ワッシャ	皿タッピンねじ(φ4×30)	バインドタッピンねじ(φ4×35)	ガスケット								
品番	K-51820-1	K-51806-1	K-51807-0	K-51809-1	品番	K-30649	BF-4030B07	BB-4035AG	K-29152								
個数	2	2	2	2	個数	1	2	8	12m								
備考					備考	上ラッチ取付用	連結材小口カバー取付用	障子組立用	2mm厚面材用								
部材名	引手裏板	引手ホルダ	中トラスタッピンねじ(φ4×20)	ねじり釘	品名	引手裏板	引手ホルダ	中トラスタッピンねじ(φ4×20)	ねじり釘	丸皿木ねじ(φ3.5×20)	ストッパー						
品番	3K-14699	K-34991	EM-4020D8	K-6606A	品番	3K-14699	K-34991	EM-4020D8	K-6606A	WO-3520D6	2K-34345						
個数	2	2	2	12	個数	2	2	2	12	11	1						
備考			引手ホルダ取付用	枠取付用	備考			引手ホルダ取付用	枠取付用	枠取付用							

**1. 障子の組立**

図は、左勝手で示しています。

**1 ガラリツマミの取付**

②ガラリツマミ  
③プッシュリベット

①中棧の溝部分に差し込んでください。  
②中棧の加工にガラリツマミを挿入してください。  
③プッシュリベットを中棧の加工穴に押し込み、中棧とガラリツマミを結合してください。

**2 ガラリの組立**

①ガラリブロック  
②ガラリブロック

①面材セット2ND-S-0718SP(別売品)を用いて、サイズオーダーまたは、切断して使用してください。規格サイズの場合、W×H=750×1816用になっています。  
●上上面材のサイズ(2枚)  
 $(\frac{W}{2} - 66) \times (H - 1010)$   
●下下面材のサイズ(2枚)  
 $(\frac{W}{2} - 66) \times 715$   
②ガスケット(2mm厚面材用)を継ぎ目が上側中央になるように巻付けてください。

**3 中棧引手の部品付**

④⑤中棧連結ブロック

**4 面材の準備**

①面材セット2ND-S-0718SP(別売品)を用いて、サイズオーダーまたは、切断して使用してください。規格サイズの場合、W×H=750×1816用になっています。  
●上上面材のサイズ(2枚)  
 $(\frac{W}{2} - 66) \times (H - 1010)$   
●下下面材のサイズ(2枚)  
 $(\frac{W}{2} - 66) \times 715$   
②ガスケット(2mm厚面材用)を継ぎ目が上側中央になるように巻付けてください。

**5 組立**

①中棧引手を組込んでください。  
②面材をはめ込んでください。  
③たて枠を組込んでください。  
④上枠  
●ガラリ  
●下枠  
を組込んでねじで固定してください。  
⑤もう片方の障子も同様に組立てください。

**ポイント**  
●凹凸の少ない面が浴室側になるようにはめ込んでください。  
●ガスケットの継ぎ目が上になるようにはめ込んでください。

**6 連結**

⑥連結材小口カバー

**ポイント**  
下戸車は、吊元側と摺動側があります。左右勝手にあわせて、取付けてください。

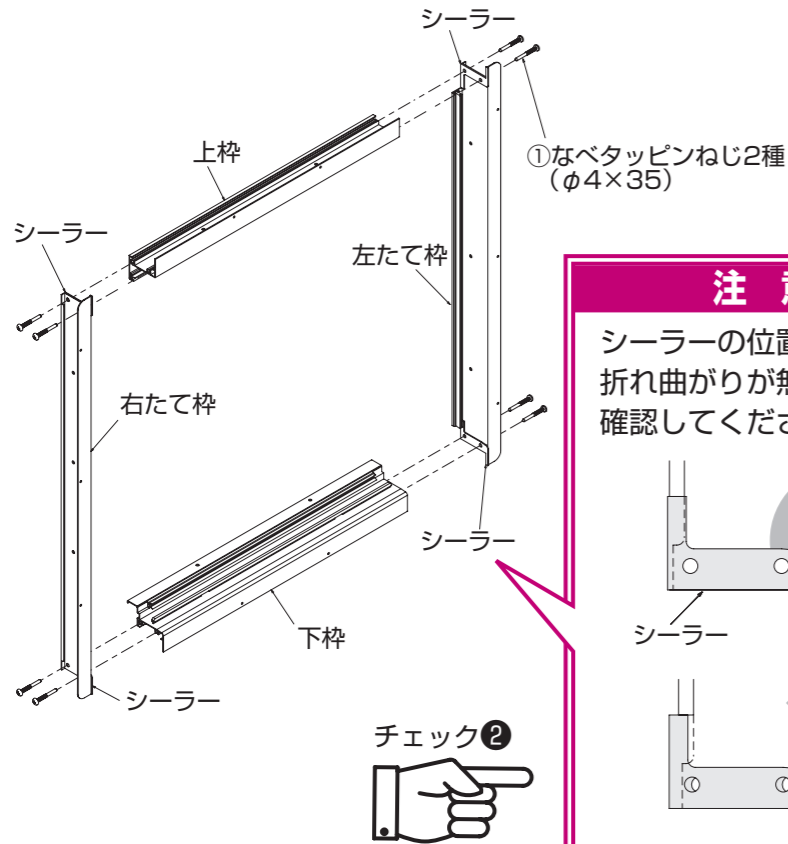
**7 部品の取付**

①戸車・ラッチ・錠を取付けてください。  
②ツマミ・着脱レバー・ラベルを取付けてください。  
③上戸車を一番下まで押し込みながら取付けてください。

**お願い**  
着脱レバー取付後、レバーを上下させて上戸車が動していることを確認してください。

⑦ツマミ(脱衣室側)  
⑧ツマミ(浴室側)

## 2. 枠の組立



**注意**

シーラーの位置ずれ・折れ曲がりがないことを確認してください。



## 3. 枠の取付

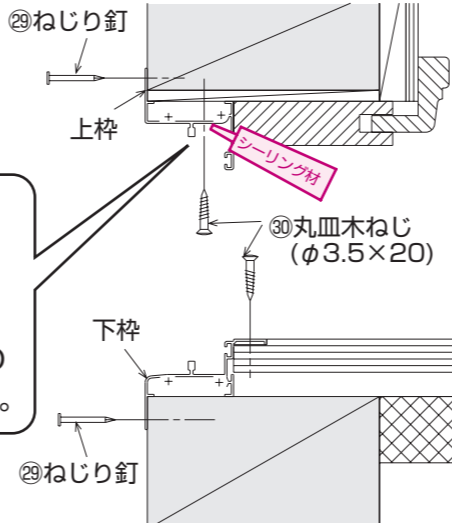
- 開口部の水平・垂直・面違いを確かめてください。
- サッシ枠を開口部へはめ込み、仮止めし、下げ振り・水準器・巻尺などを使用し、水平・垂直・対角寸法を確認してください。
- 枠の左右出入を調整してください。(出入を修正し、すき間があれば詰木を入れてください。)
- 枠外部をねじり釘で本付けし、枠内部を皿木ねじでしっかり固定してください。上下枠に対して枠は十分、直角に注意して取付けてください。

**注意**

躯体側の防水処理は必ず行ってください。

### ポイント

取付けの際、枠の上下にご注意ください。上枠には Y00※※※ウエの刻印が施されています。



**お願い**

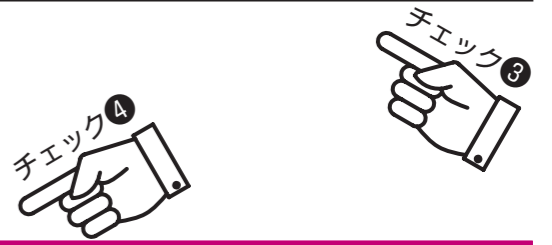
垂直度(前後・左右)・対角寸法差は、±1mm以内としてください。枠のねじれ・ハラミ・つづみのないように注意してください。

■垂直度の確認   ■対角寸法の確認   ■ハラミ・つづみの確認

$-1 \leq (A-a) \leq +1$   
 $-1 \leq (B-b) \leq +1$

$-1 \leq (C-D) \leq +1$

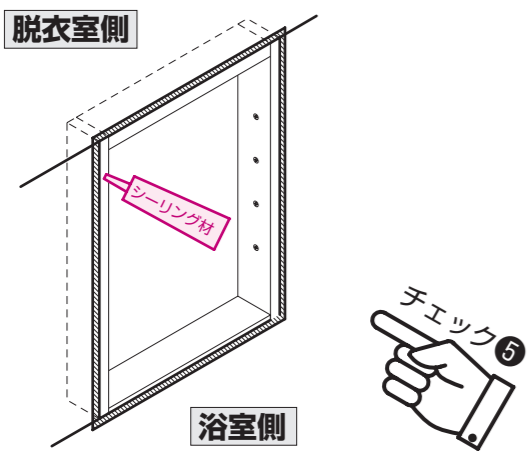
$E=F=G$



**シーリング**

枠の見付部本固定には必ずシーリングを併用してねじ止めしてください。ねじ止め後、はみ出したシーリング材はきれいに拭き取ってください。

## 4. シーリング

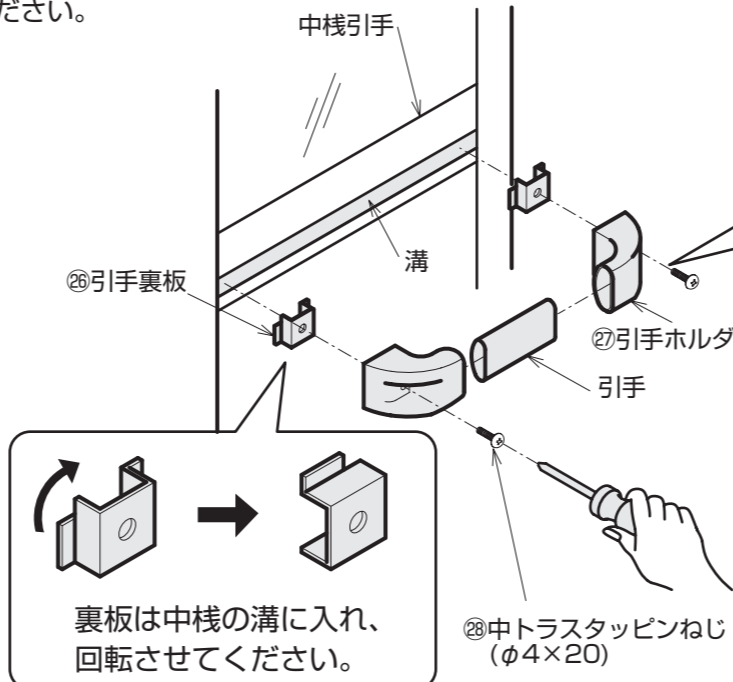
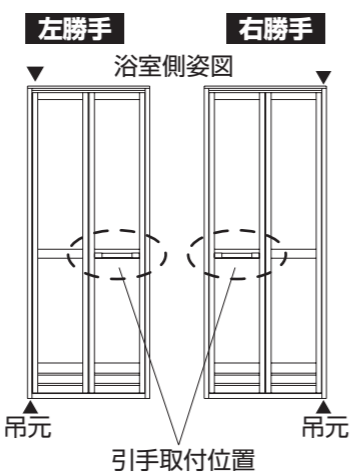


**シーリング**

枠の取付およびシーリング作業を適切に行わないと漏水および操作不良の原因となります。

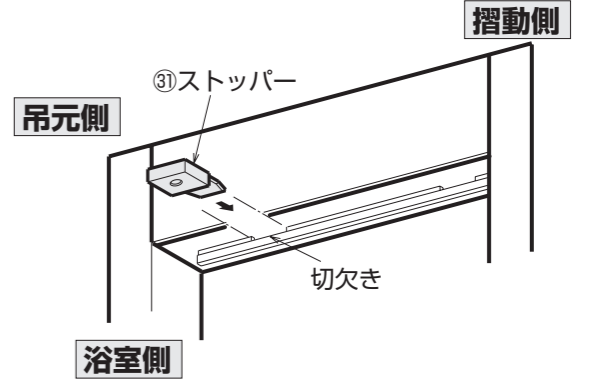
## 5. 引手の取付

引手を可動側の中棧に取付けてください。



## 6. ストッパーの取付

上枠アタッチメントの吊元側切欠きにはめ込んでください。



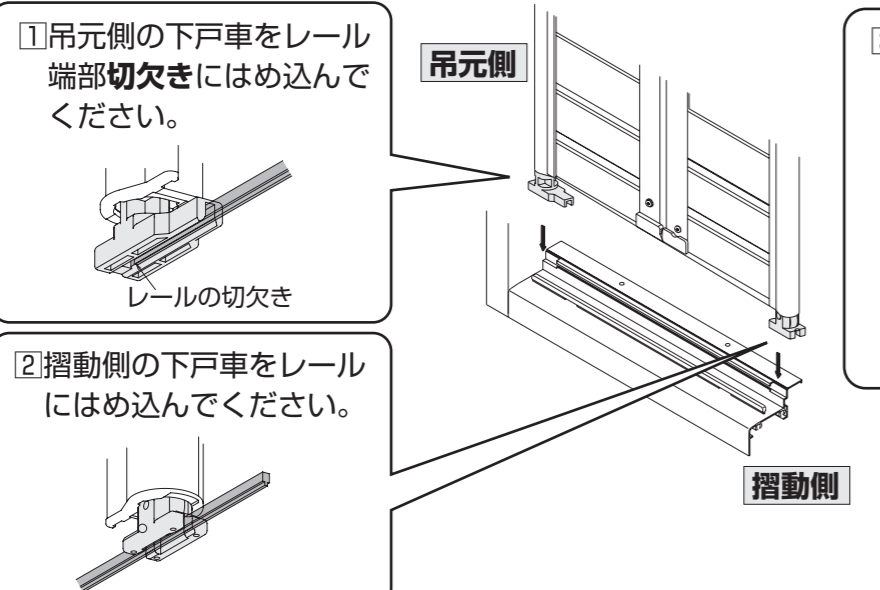
**注意**

ストッパーは必ず取付けてください。障子脱落のおそれがあります。

## 7. 障子の吊込み

### 注意

障子の吊込みは、上下の戸車を正しくセットしてください。障子はずれるおそれがあります。

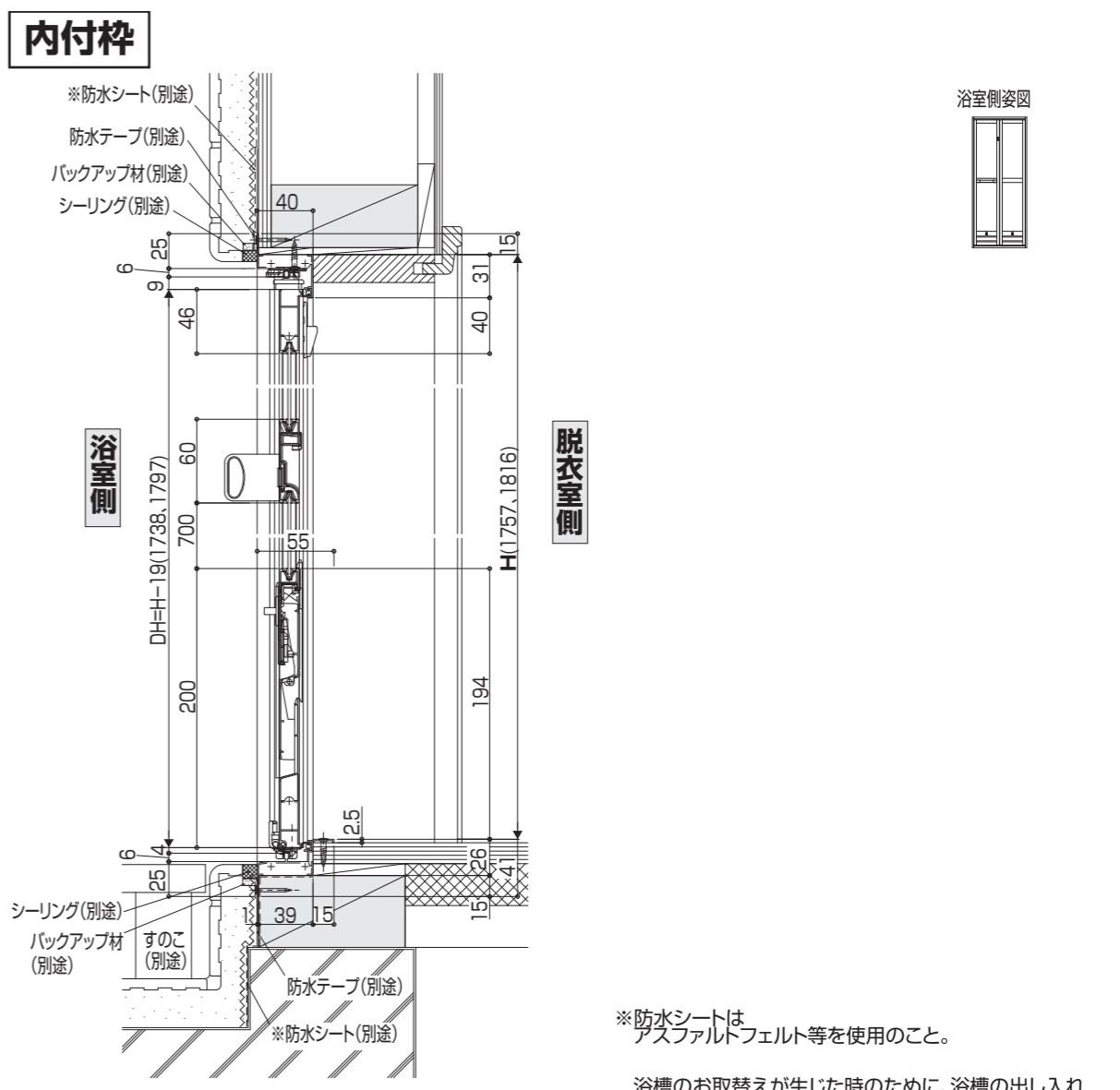


**お願い**

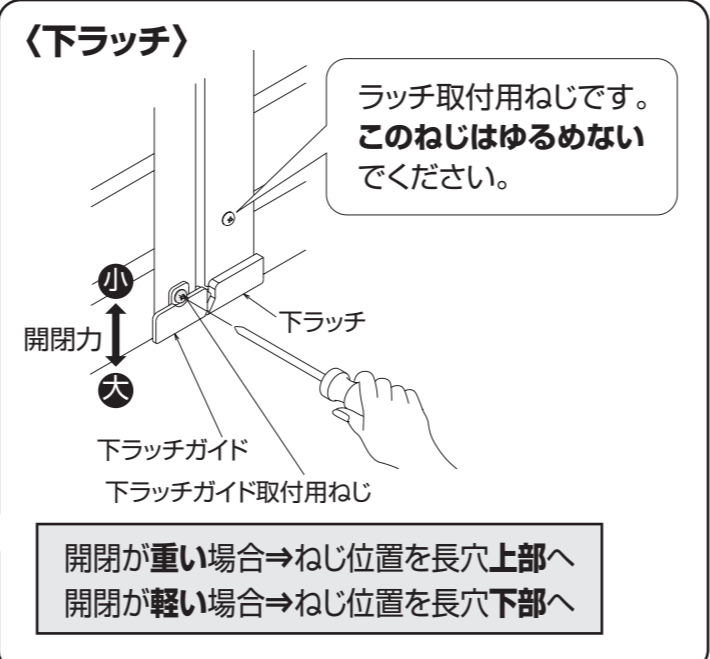
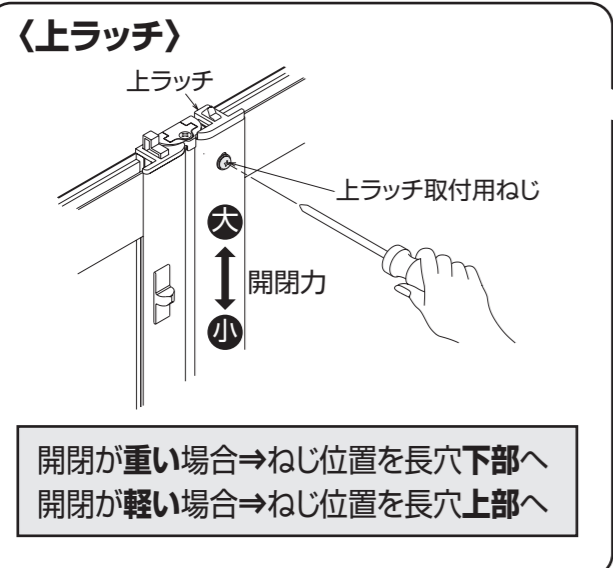
吊込み後に、必ず開閉操作の確認を行ってください。



## 納まり参考図 (単位: mm)



## 8. ラッチの調整



**注意**

あくまでも補助的な調整です。施工のくいをカバーするものではありません。

**ポイント**

枠レールとのかかり代が大きすぎると開閉が重くなります。開閉が重い場合、再度調整してください。

**お願い**

調整後、再度ねじをしっかりと締めてください。

